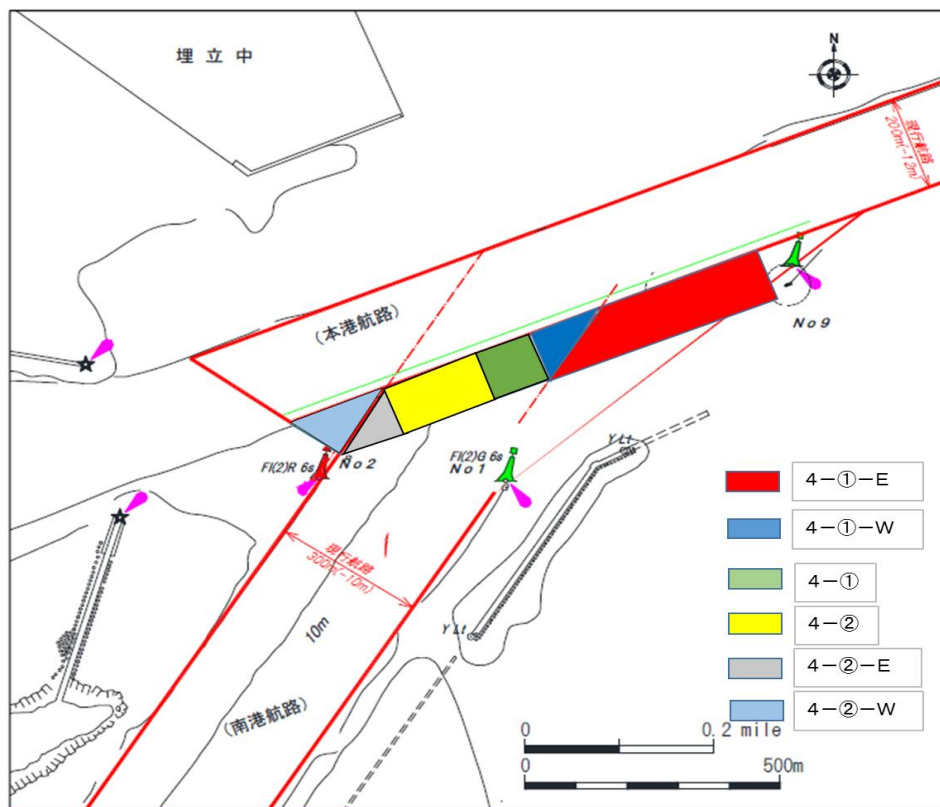


工事区域



浚渫時の作業船の対応

工事区域	最小可航幅	退避対象船舶
	南港航路	南港航路
4-①-E	約300m	全長197m超の船舶通航時、航路外退避
4-①-W	約218m	全長128m超～197m以下の船舶通航時、300m以上可航幅確保 全長197m超の船舶通航時、航路外退避
4-②-E	約216m	全長127m超～197m以下の船舶通航時、300m以上可航幅確保
4-②-W	約300m	退避なし
4-①	約138m	全長69m超～80m以下の船舶通航時、160m以上可航幅確保 全長80m超～113m以下の船舶通航時、200m以上可航幅確保 全長113m超～197m以下の船舶通航時、300m可航幅確保 全長197m超の船舶通航時、航路外退避
4-②	約138m	全長69m超～80m以下の船舶通航時、160m以上可航幅確保 全長80m超～113m以下の船舶通航時、200m以上可航幅確保 全長113m超の船舶通航時、航路外退避

※ 本港航路航行船舶については、退避等の対応はありません。